

事業概要シート

施策	0301	歴史・文化の保護・活用・継承	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	歴史資料館整備事業		現状維持	予算額	0 千円
事業期間	令和6年度 ～ 令和12年度			≪ 3,850 ≫千円	
根拠法令 要綱等	博物館法 大村市歴史資料館条例		財 源 内 訳	国庫支出金	千円
				県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	千円
				一般財源	0 千円

【事業の目的・概要・対象】

目的

コンテンツやHPの改修を行うことで、魅力ある情報発信を行い、大村の魅力を伝える歴史資料館の機能を充実を図る。また、展示室や収蔵庫の環境整備も行う。

内容

歴史資料館のコンテンツ、映像機器の更新、HPでの情報発信の強化を行う。

○シアターコンテンツの制作

開館以来2コンテンツを上映しているが、これを見直し、新規コンテンツを制作する。

○映像機器の更新

設置から5年を経過するため、耐用年数や新規コンテンツの導入状況を勘案し、更新を行っていく。

○リニューアルしたHPでの情報発信

独自サーバによる新しいHPにおいて、収蔵資料や展示会の情報発信を強化する。

魅力ある歴史資料館を目指して

コンテンツの更新

課題

シアターの上映内容
の固定化
ランニングコスト
映像機器の耐用年

解決

コンテンツの見直しと
新規制作
機器の計画的な入れ替え

Web情報発信 の強化

課題

既存の長崎県の
ミュージアムネットワー
クシステムの終了
(令和6年度)

解決

利用者がアクセスしやすい
Web環境の整備
所蔵する歴史資料データ
の発信

【背景】

歴史資料館シアターコンツについて、現在、映画とデジタルコンテンツの2つで運用しているが、新たなコンテンツの導入など見直しが求められており、市議会にも令和6年度から8年度を目途に見直すと説明している。シアターや展示室の映像機器も、設置から5年が経過することもあり、耐用年数も勘案し計画的に更新していく必要がある。

リニューアルを行ったHPでは、収蔵資料データの管理・更新を継続して行い、展示会や所蔵資料などの情報発信を強化していく。

担当課	教育委員会文化振興課（歴史資料館）	課長	今村 明
担当者	山下 和秀	問合せ先	歴史資料館 48-5050

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	コンテンツ制作本数	計画値	本	0	0	0	1	0
②	データ移管	計画値	%	0	100			

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	シアター入場者数	計画値	人	22,918	25,000	25,000	25,000	28,000
②	事業進捗率	計画値	%	0	4	8	78	83

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	0	0	3,850	0	43,670	25,000	72,520
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源			3,850	0	43,670	25,000	72,520
人件費	0	0	3,836	3,836	3,836	3,836	15,344
職員(人)			0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	2.00人
時間外勤務(h)			100h	100h	100h	100h	400h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	7,686	3,836	47,506	28,836	87,864

妥当性 (市の関与)	市の施設のコンテンツやシステムであり、市が行う必要がある。
有効性 (施策貢献度)	魅力あるコンテンツや情報を提供することは、歴史・文化の活用や継承に有効である。
効率性 (コスト)	今後、機器の耐用年数等を踏まえつつ、全体の交換計画を精査して、コストの平準化を検討していく。

1次評価	歴史資料館のコンテンツや環境を充実していくことは、歴史・文化の継承や地域学習に必要であり、継続して取り組む必要がある。
2次評価	1次評価のとおり